

2026年3月10日

## 国際スマートグリッド展へ出展 ～「タフロング LL」や「EW-EMS」など最新蓄電ソリューションを紹介～

エナジーウィズ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:吉田誠人)は、3月17日(火)～19日(木)に開催される「国際スマートグリッド展」に出展します。同展では、再生可能エネルギー対応の新・鉛蓄電池「タフロング LL」や当社が独自に開発したエネルギー管理システム「EW-EMS」など最新の蓄電ソリューションを紹介します。



ブース出展場所:東8ホール E70-5

### 『タフロング LL』とは

安全性・環境配慮・高効率運用を実現する国産鉛蓄電池であり、長寿命かつ高サイクル性能を備えています。100年以上の歴史を持つ国産メーカーならではの技術力により、従来の鉛蓄電池とは一線を画す性能を誇ります。

### 《タフロング LL の特長》

#### ●安全性と環境配慮への取り組み

- ・ 製品の約97%※が不燃材料で構成され、火災リスクを大幅に低減。  
※重量ベース。樹脂以外は不燃材料。
- ・ 危険物に該当せず、オフィスや学校、病院といった屋内設置にも安心。

#### ●高いリサイクル性

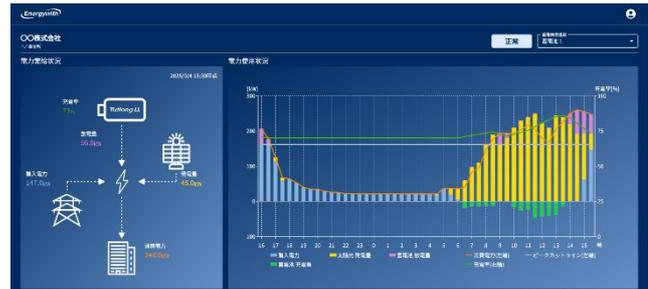
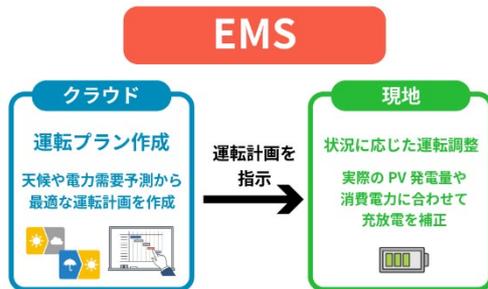
- ・ 使用後の鉛蓄電池はほぼ100%再資源化が可能であり、これにより廃棄物削減と資源循環に貢献し、環境負荷を大幅に軽減。
- ・ リサイクルを通じて企業の環境コストの削減にも寄与。

#### ●ワンストップサービスによる安定運用の実現

- ・ 顧客のニーズに応じたヒアリング、設計から設置、運用・保守、廃棄まで一貫対応。
- ・ 自社開発のEMSによりピークカット・ピークシフトを最大化し、電力効率アップ。
- ・ 遠隔監視で異常検知・予防保全を実現し、トータルコスト削減を支援。

## 『EW-EMS』とは

クラウド EMS と現地 EMS という「二つの頭脳」が連携して電気代の最適化と非常時の備えを両立する、エナジーウィズ独自のエネルギーマネジメントシステムです。リアルタイムで蓄電池の運用状況を監視し、柔軟に充放電を調整して高精度なピークカットを実現します。



EW-EMS シミュレーション画面(イメージ)

## 主な展示内容

- ・ 25kW 蓄電システム「タフロンG LL」実物大モックアップ
- ・ 「タフロンG LL」の優れた安全性と、燃焼実験動画
- ・ 優れた安全性を活用した多様な設置提案
- ・ ほぼ 100%再資源化可能な「タフロンG LL」のリサイクル性
- ・ 二つの頭脳で最適運転を実現する独自「EMS(EW-EMS)」
- ・ 蓄電システム導入効果シミュレーション

エナジーウィズは今後も、安全かつ環境に優しい蓄電技術の開発に努め、持続可能なエネルギー社会の実現に貢献してまいります。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

以上

エナジーウィズ株式会社は、1916年創業の国産バッテリーメーカー。長らく『新神戸電機』として親しまれ、自動車バッテリーやインフラを支える産業用鉛蓄電池などを製造・販売してきました。2021年に現在の社名となり、これまでの実績や信頼をもとに、バッテリーに関わるソリューションをも提供する『提案型蓄電ソリューション企業』として歩みを進めています。

エナジーウィズ株式会社

〒101-0022

東京都千代田区神田練堀町3 AKSビル

TEL 03-6811-6510 (代表)

本件に関するお問い合わせは [pr@energy-with.com](mailto:pr@energy-with.com) までお願いします。